



【令和5年度予算（案） 250百万円（250百万円）】

カーボンプライシングを速やかに導入・実施できるよう必要な調査・分析を実施します。

1. 事業目的

官邸に設置された「GX実行会議」において、「成長志向型カーボンプライシング構想」の議論が進められているところ、カーボンプライシング（地球温暖化対策税、炭素に対する賦課金、排出量取引等）の効果的な導入・実施に資するよう必要な調査・分析を行い、国民各界各層に分かりやすい形でまとめる。

2. 事業内容

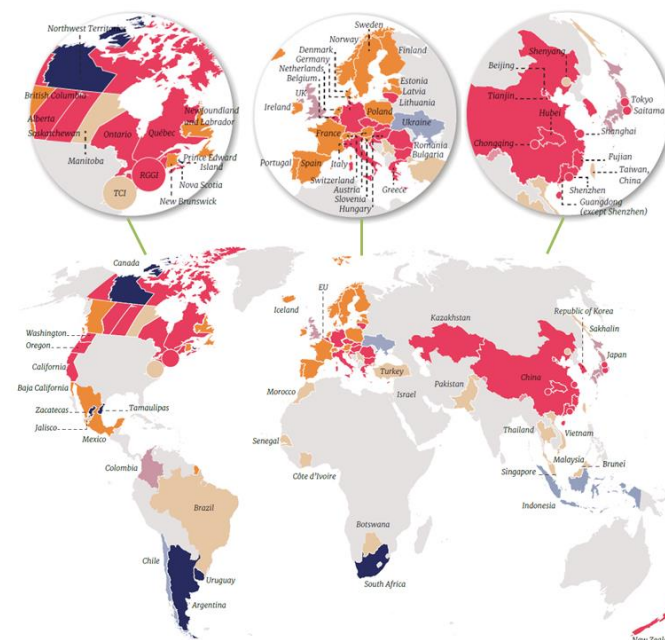
●2018年に中央環境審議会地球環境部会の下に「カーボンプライシングの活用に関する小委員会」が設置され、「新たな経済成長につなげていくドライバーとしてのカーボンプライシングの可能性」について審議が進められているところ。また、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定)」において、「今後10年間に150兆円超の投資を実現するため、成長促進と排出抑制・吸収を共に最大化する効果を持った、「成長志向型カーボンプライシング構想」を具体化し、最大限活用する。」と示され、官邸に設置された「GX実行会議」において、「成長志向型カーボンプライシング構想」の具体的検討が進められている。

●上記の背景も踏まえ、カーボンプライシング（地球温暖化対策税、炭素に対する賦課金、排出量取引等）の効果的な導入・実施に資するように、最新の情報と研究機関等の研究結果等に基づき、期待される政策効果と影響について調査・分析を行うとともに、その結果を国民各界各層に分かりやすい形で取りまとめる。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成29年度～令和5年度

4. 事業イメージ



● ETSのみ：導入済／導入決定 ● ETS：導入済み／導入決定、ETS又は炭素税：検討中
 ● 炭素税のみ：導入済／導入決定 ● 炭素税：導入済／導入決定、排出量取引制度：検討中
 ● ETS及び炭素税：導入済／導入決定 ● ETS又は炭素税：検討中

※ETS：排出量取引制度

世界銀行「State and Trends of Carbon Pricing 2022」より環境省作成